

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

高齢者世帯などへ
お弁当をお届けしました



弁当の盛りつけ作業



手分けして9種類の
惣菜をテキパキと調理

ことしも独居高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、去る3月23日、夕食用のお弁当をお届けする事業を行いました。
市外在住の地区のご出身者や当協議会の活動に賛同下さる方々が、宇佐市のふるさと納税制度を利用して当協議会指定でお寄せ頂いた応援金(平成30年度は37万円)の一部を活用しての事業です。
当事業にあたっては、さまざまなイベントでご加勢して頂く女性部会員と女性ボランティア Grメンバーから成る15人の方々の協力で、品数豊富でヘルシーなメニューのお弁当160食を調理いただき、各集落の区長さんのご協力により該当世帯へお届け、と、地区の共助精神が大いに発揮されました。
今のところ年1回のささやかなお届けですが、日頃「ご不便を感じておられる方々には大変喜んで頂いており、ふるさと納税の呼び掛けを積極的に進め、更に回数を増やして参りたい事業です。
地区の皆さまには、「ご親戚やお知り合いの方々へふるさと納税」の呼び掛けで「協力下さるよう」お願い致します。

津房小学校の卒業式と
入学式のご紹介



思い出いっぱい
七人の卒業式



ピカピカの四人

津房の次代を担ってくれる津小児童たちの卒業式と入学式が市域一斉日に挙行されました。ことしは近年稀な7人もの津房っ子たちが元気に巣立ち、そのあとピカピカの4人の新入生を迎えました。(結果、ことしの全校児童数は3人減の26人になります)
7人の卒業生は、典型的な小規模校である津小で上、下級生や地区民と親密に過ごした6年間の思い出を胸に、それぞれの夢を叶えるべく、中学校でも頑張ってくれるに違いありませんが、通学途中で見かけたときは、津房っ子たちへの激励の声掛けで引き続き応援しましょう!
一方、誰もが微笑み掛けたくなる新入の4人に小規模校の最大のメリットである個性を活かし、特技を伸ばす教育を通じて立派な津房っ子に育ってもらうには、学校、保護者、地区の三者一体となつての連携と側面支援が不可欠となります。
当協議会の取り組み事業においては、高齢者へのサポートと同じく、地区にとって大事な課題と捉え、学校施設の整備やイベントへの協賛面で従来に増して資源を注ぎ、側面支援事業を行っています。

しめ縄づくり教室
開催します

各集落ともに古来よりそれぞれの神社を護持し、例祭を催行していましたが、最近は神社の境内に張り巡らして神域を区画するための「しめ縄」を編める人材が減って、その調達に苦労しているとの声を良く耳にします。
地区の殆どが専業農家で、軒並み稲作を行っていた頃は、お父さん、お母さんを問わず、誰でも編めたものですが、農村環境の変化に伴って技の伝承が途絶えつつあるためでしょう。
そこで、地区のしめ縄づくりの達人から昔ながらのしめ縄編みの技を短期集中して伝承するための教室を左記の要領で開催することにしました。
文化の伝承と実益を兼ねて、奮ってご参加下さるようご案内します。
【開講日時】
5月19日(日)と6月2日(日)の2回シリーズ
午前9:00～12:00
【場 所】津房地区公民館
【携行物】念のため薄手の綿手袋
【参加費】講師への謝礼と材料(わら)代込、2回分で一、〇〇〇円
【参加申込み先】
5月15日までに当協議会・事務局
Tel 48-2001、
担当 岡 又は 佐藤

2019年津房地区区長の一覧

集落名	氏名 《敬称略》	集落名	氏名 《敬称略》
檜 本	岡 喜久夫	板 場	小西 健一
東 恵 良	綾部 武美	川 崎	渡邊伸一郎
尾 立	菅原 智徳	松 本	小野 剛臣
尾立営団	中村 泰夫	小 田	池田 静夫
六 郎 丸	大坪 数男	丸 田	小野 英一
五 郎 丸	佐藤 浩一	大 内	太田 輝吉
若 林	小野 和典	中 間	吉武二十三
東 椎 屋	円藤 文男	中間営団	吉武 繁雄
萱 籠	糸長 好則	小唐川	佐藤 秋利

区長会の各役員については4月25日開催の総会にて確定。

毛無尾共有林・管理業務のご報告

地区共有林の平成30年度・管理業務内容と収支についてご報告します。

【事業内容】

- 1, 殖林や間伐事業などの新規着手した事業はなし。
- 2, 平成31年2月24日、協議会関連役員、区長有志、ふたりの専門委員から成る合計15人で、現地確認作業を行った。また、今回初参加の4人の区長に隣地との境界線について説明し、伝達。

【収支関係】

《収入》前期からの繰越金 4,150,135 円
 その他(預金利子) 34 円 合計 4,150,169 円
 《支出》事業費 0 円 … ※1
 専門委員手当(2人) 24,000 円 合計 24,000 円
収支=4,150,169 円 - 24,000 円 = 4,126,169 円

が次年度繰越金です。

※1: 現地確認作業は地区の農地・水・環境保全組織の事業扱い